

高齢者介護施設向け記録管理システム

ちようじゆ



2014年 4月

株式会社 富士データシステム

株式会社 富士データシステム

社名	
所在地	本社
	東京営業所
	福岡営業所
創業	
代表者	
資本金	
従業員数	
売上高	
業種	

〒422-8067

静岡県静岡市駿河区南町18-1サウスポット静岡15F
TEL.054-202-0300 FAX.054-202-0277

〒140-0001

東京都品川区北品川3丁目6番6号品川御殿山ビル6F
TEL.03-6718-4105 FAX.03-6718-4106

〒812-0011

福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目17番19号安田第5ビル5F
TEL.092-452-1210 FAX.092-452-1215

1989年8月

代表取締役社長 齋藤芳久

1億9756万円

72名（2014年4月現在）

9億7000万円（2013年6月期）

- 高齢者、障害者施設向けソフトウェアの開発および販売
- 診療記録および看護記録管理システムの開発および販売
- 保育所、幼稚園向けソフトウェアの開発および販売
- 社会福祉、医療、介護に関する情報収集、調査、研究およびコンサルタント

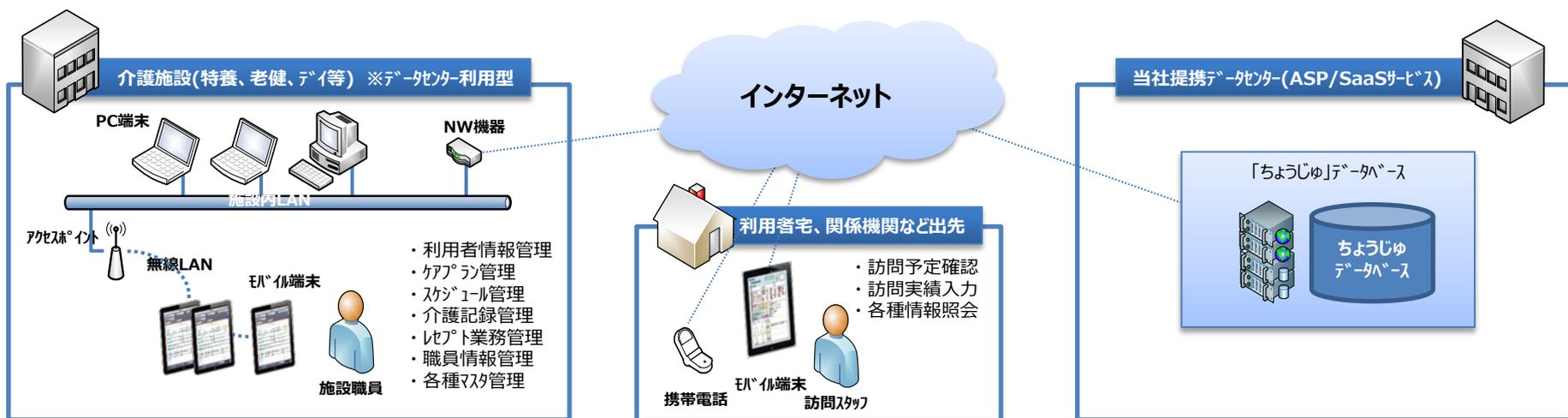


2. システム概要

「ちょうじゅ」は介護現場における介護・看護・リハビリ等の記録、利用者および職員、施設のスケジュール、介護報酬請求等の業務をモバイル端末やパソコンを使用して管理する業務支援システムです。

転記を要する手書き記録・書類のシステム化、データ分類・抽出による職員間引継ぎの時短・サービス品質向上等、現場業務の効率化、省力化を図ります。

特に、モバイル端末を利用することにより、施設内外での絶え間ない移動と複数スタッフの連携プレーが必須である介護現場において、利用者の様子・状態等をリアルタイムに記録、参照することが可能になります。



※施設にサーバーを設置するC/S型で、システムを運用することも可能です。

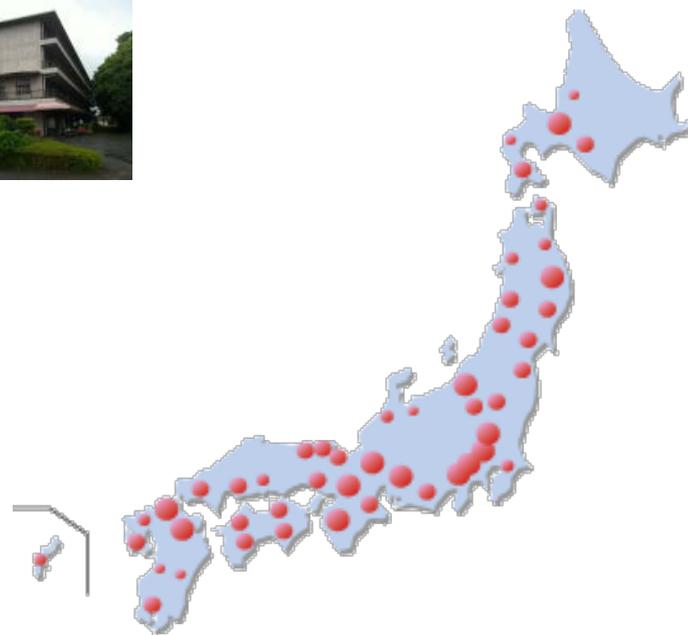
3. 導入実績

全国各地で「ちょうじゅ」が使用され、全ユーザーの記録システムが様々な業務をサポートしています。

法人数：約 800 法人

事業所数：約 2,500 事業所

モバイル端末稼働数：約 10,000 台以上



日本全国で記録システムが稼働しています。

4. 技術

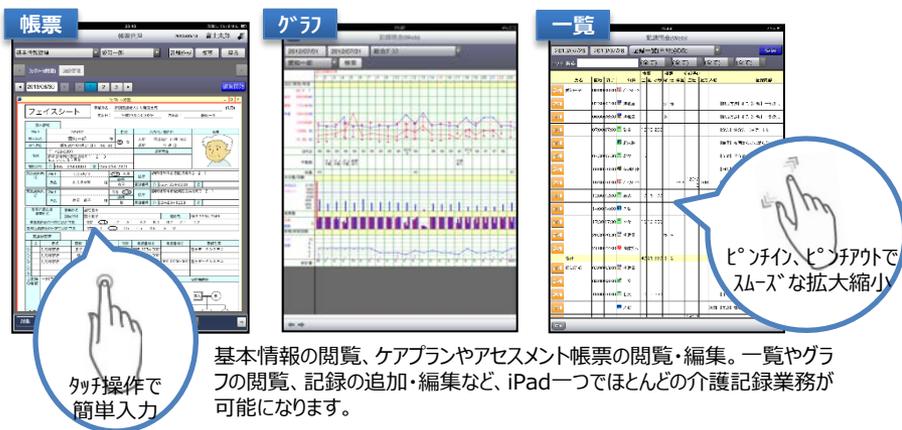
①介護現場で使えるモバイル端末を1990年代からリリース

- 当社の最大のポイントは、創業以来20年以上開発してきたモバイル端末によるデータ管理にあります。福祉業界に特化した研究の結果、施設内のスタッフ導線、共有情報の多様さに着眼し、90年代からデータのモバイル性を重視してきました。
- 初期バージョンのSONYの電子手帳（PalmTop）から、SHARPの電子手帳（ZAURUS）、MicrosoftのWindowsMobile端末、最新バージョンではAppleのiOS端末（iPad、iPhone、iPod touch）に対応と、徹底して介護現場で手軽に介護・看護・リハビリ等の記録の入力し易さにこだわって開発しております。



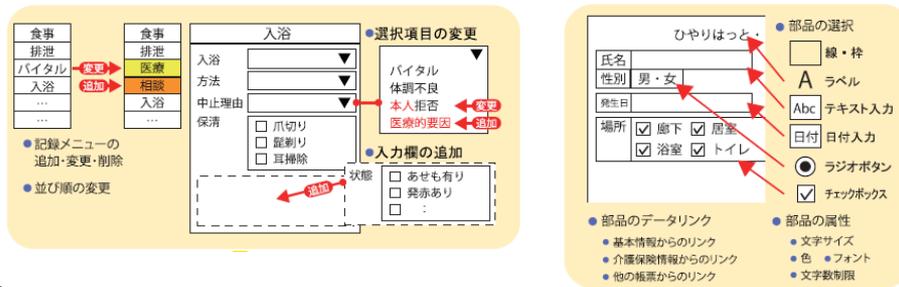
②HTML5など最新Web技術を駆使したiPad新機能をリリース

- Webアプリケーションですが、最新技術を駆使してネイティブアプリケーションと変わらないUXを実現しました。



③モバイル端末で入力可能な項目をフルカスタマイズ可能

- モバイル端末の入力画面（入力項目・入力方法等）は、自由に変更可能であり、そのカスタマイズツールはエンドユーザーにも提供しています。
- 「今まで使ってきた記録帳票はどうなるの？」という声をお聞きしますが、ちょうじゅの柔軟カスタマイズ機能により、システム導入前に使用していた記録用紙や帳票が、そのまま記録システムで管理できるため、大幅な業務変更を伴うことなくシステム運用が可能になります。



④ナースコールと連携し1台の端末で2in1機能を実現

- スマートフォン対応のナースコールシステムとシステム連携を行い、モバイル端末1台でナースコール対応と介護記録を実現し、現場職員の端末携帯負担を軽減します。

5. 記録入力ツール（モバイル端末）の特徴

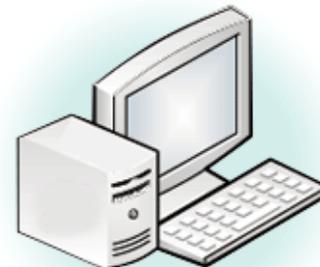


記録入力ツールで、現場にしながら「いつでも・どこでも・簡単に」記録入力ができます。

PDA・iPhone・iPad 記録入力ツール



記録管理システム
データベース



いつでもどこでも 紙よりも速く！

各職種のスタッフが業務に合わせてモバイル端末で簡単記録入力

ケアワーカー



- ・食事介助
- ・排泄介助
- ・入浴介助
- ・更衣介助
- ・夜間巡回

看護師



- ・バイタルチェック
- ・看護処置
- ・受診対応
- ・入院・通院対応

相談員



- ・相談対応
- ・入所時対応
- ・苦情対応

セラピスト



- ・個別リハ
- ・集団リハ
- ・レクリハ
- ・リハ実施評価

- ・入力された記録は、リアルタイムに記録システムデータベースで共有される為、スタッフ間の情報共有、伝達がスムーズになります。
- ・その日の日誌や申し送り票などの連絡帳票が自動的に作成されます



6. 提供価値

会社の「シゴト」をどのようにかえた（かえる）のか

- ICT化が他産業よりも進んでいない福祉現場において、同業界向けのソフトウェアの中では稀である「記録管理」をメインに据えることにより、間接業務（転記、清書、集計等の事務作業）を減らし、直接業務（ケアや対話など利用者へのサービス）を増やす効果が実証されています。

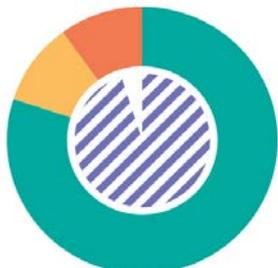
職員数とシステム使用者の割合

■介護・看護職員 ■相談員・ケアマネ ■事務員 ■システム利用者

※導入前後の業務プロセスを産業技術総合研究所と当社が共同で調査・研究を行った結果に基づきます。



請求システムがメインのシステム



施設職員全員参加型のシステム「ちょうじゅ」

- 「ちょうじゅ」は全職種参加型のシステムです。介護士、看護師、相談員、事務員等、多職種が連携する福祉業務フローをICT化するためには、全職種参加型のシステムが必要不可欠となります。
- 介護業界向けのソフトの大多数は介護報酬請求業務がメイン機能となっており、顧客層には「介護ソフト＝請求ソフト＝事務スタッフが使うもの」という認識が定着していますが「ちょうじゅ」では請求ソフトはあくまで機能の一部、福祉業務の一部と位置付けており記録システムと請求システムの稼働率が9割以上という実績があります。

介護職員
利用者情報の共有が楽になった
利用者ごとのケア方法が把握しやすくなった
今日の入退所情報が現場でわかる

看護師
介護職との連携がスムーズになった
通院時に必要な情報を整理しやすくなった
回診時の先生へ状態を伝えやすくなった

相談員・ケアマネ
監査用の情報収集が楽になった
事業報告用の資料作成が楽になった
ご家族へ生活の様子を伝えやすくなった

施設長
記録残業が減った コストダウン!!
現場の状況を把握しやすくなった
現場への指示がしやすくなった

お客様に提供できるようになった新しいユーザー・エクスペリエンスや価値は何か

超高齢社会の新産業として、福祉業界の活性化は国内・世界の注目を集めているが、まずは同業界の慢性的課題とされている深刻な人手不足、業務改善が急務とされている。この現状を踏まえて、省力化を実現しうるICTが、福祉業界において担っている社会的役割は非常に大きい。具体的効果としては下記の3点が挙げられる。

- システム化により事務作業の効率化が促進され、本来のケアや対話などの「直接業務」の時間が増加するため、専門性の発揮によるスタッフの満足度とスキルの上昇を実感している事業者が多数ある。
- モバイルによる情報収集により、紙媒体では喪失していたデータ量と記録機会が圧倒的に増えるため、介護ノウハウ、マーケティング戦略を分析するための情報資産を保有することができる。
- 複数サービス間、上下間、多職種間における情報共有、コミュニケーションを円滑にし、ノウハウの蓄積を促し、業務フローを明文化し、教育機会を増加させている。これらにより複数の離職原因の解消が可能となり、介護職員の職場への定着率を引き上げ、他業種への人材流出を抑える効果が期待されている。

よりよい社会の実現、公共、環境問題に貢献した（できる）こと

今後の業界動向として、施設内部でのケアから地域生活への移行が推進され、2025年を目途に「地域包括ケアシステム」の構築が目指されている。

- 「ちょうじゅ」は施設内部、法人内部の介護データインフラとして蓄積した技術とノウハウをイニシアティブとして発揮し、地域包括ケアシステムのICT化を推進してきます。

65歳以上の高齢者人口に対する20歳～64歳人口割合

1990年	2010年	2025年	2060年
5.1人	2.6人	1.8人	1.2人

7. 取り組み、報道での取り扱いなど

2011年

- 1月 「ちょうじゅ」データセンターサービス開始、iOS版記録入力ツールリリース
- 4月 ISO/IEC27001:2005の認証取得

2012年

- 7月 第6回 ASP・SaaS・クラウドアワード2012 委員会特別賞受賞（ちょうじゅ）
- 10月 シルバー新報掲載 「デイの介護記録で実態調査」

2013年

- 1月 介護ビジョン1月号掲載 「多様な情報を一元管理し業務の効率化を協力のサポート」
- 2月 日本経済新聞掲載 「介護用システム興味津々 ベトナム・フエ市幹部ら」
- 9月 第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013 社会・業界特化系グランプリ受賞（ちょうじゅ）
- 10月 日本経済新聞掲載 「はばたく実力派 介護記録、管理容易に」
- 11月 日本経済新聞掲載 「iPadに介護情報 帳票編集や閲覧」

2014年

- 3月 日本経済新聞「ナースコール構築安く」記事中にちょうじゅとのコール履歴の連携記事掲載



業務効率化

サービス向上を表現させる
充実のモバイル型記録ツール

現場に近いシステム会社社員が
サポートする株式会社富士デー
タシステムのモバイル型記録ツ
ール「ちょうじゅ」は、介護用シ
ステムの分野で、国内最大級の
シェアを誇る。介護記録、ケア
記録、給付・支給管理など、介護
保険事業所の記録業務や介護報酬
請求業務の効率化
をサポートし、サ
ポートする介護系
務支援システムと
して1996年に
発売を開始して以
て、

安心の保守体制のデータセンター
サービスで着実にユーザーを増や
し、現在、全国で約800法人、
約2,000事業所への導入実績を
誇っている。

同社はシステムの開発にあた
り、定期的に全国の介護事業所を
対象にアンケート調査を行ってい
る。その結果、記録業務の改善を
求めている事業者が多いという
状況だ。

「いつでもどこでも」という
特徴とする記録システムは、より
も取り扱える入力方法が可
能なため、現場での記録業務が
楽になる。また、記録業務の
効率化を図ることで、介護事業
所の経営が安定し、介護事業
所の発展に貢献している。

業務効率化

多様な情報を一元管理し
業務の効率化を強力にサポート

株式会社富士データシステム 介護用システム

富士データシステム 帳票編集や閲覧
iPadに介護情報

富士データシステム 帳票編集や閲覧
iPadに介護情報

富士データシステム 帳票編集や閲覧
iPadに介護情報

施設の介護記録
富士データシステム 帳票編集や閲覧
iPadに介護情報

来年1月から新サービス

iPhoneで簡単入力

介護記録、管理容易に

はばたく実力派
介護記録、管理容易に

介護記録、管理容易に

介護記録、管理容易に

介護用システム興味津々
ベトナム・フエ市幹部ら

ベトナム・フエ市幹部ら
介護用システムに興味津々

ベトナム・フエ市幹部ら
介護用システムに興味津々



システムに関するご質問、デモのご希望等ございましたら
お気軽にご連絡下さい。



FUJI DATA SYSTEM

株式会社富士データシステム

本社

〒422-8067
静岡県静岡市駿河区南町18-1サウスポット静岡15F
TEL.054-202-0300 FAX.054-202-0277

東京営業所

〒140-0001
東京都品川区北品川3丁目6番6号品川御殿山ビル6F
TEL.03-6718-4105 FAX.03-6718-4106

福岡営業所

〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目17番19号安田第5ビル5F
TEL.092-452-1210 FAX.092-452-1215

ホームページ

<http://www.flds.co.jp>